

生命環境学部生命科学科

生命科学科長

五味 正志



平成28年8月7日

生命科学とは

生命科学とはどのような学問か？

生物学を中心として、化学や物理学など多様な側面から生命現象にアプローチする学問領域。

人材育成目標と進路、資格

◎人材育成目標

生命体の分子細胞から個体レベルまで総合的教育を行ない、医療・環境・食料などの問題を解決する研究を通じて「**地域産業の再生と新規産業の創生**」に寄与し、人類社会の福祉に貢献できる人材育成を目指しています。

◎卒業後の進路

- 教育・研究機関の教育者・研究者
- 医農薬品工業・化学工業・資源エネルギー産業の技術者・研究者
- 医療関係機関・医療器機開発の技術者
- 食品関連企業の技術者・研究者
- バイオテクノロジーをいかすあらゆる業種の技術者・研究者
- 関連分野の大学院進学など

取得可能な資格・免許

- 中学校教諭一種免許状(理科)
- 高等学校教諭一種免許状(理科)
- 食品衛生管理者任用資格
- 食品衛生監視員任用資格

取得を目指す資格

- バイオ技術者認定試験(中級、上級)
(日本バイオ技術教育学会)

生命科学科

カリキュラムの特色 / 応用生命と食品資源



—『生きる』、『食べる』、『暮らし』の向上—

健康面,医療面への応用,食料生産・加工・流通の改善,これらを取り巻く環境の改善を目指す

応用生命と
食品資源の
2コース制

大学院・生命システム科学専攻

応用生命科学コース

食品資源科学コース

コース専門科目

コース専門科目

学科共通専門科目

学部基礎科目・学部共通科目

学科教育体系

食の安心・安全に関わる食品の加工・製造,食材の科学的性質・機能特性,有用食料資源の開発・流通など食に特化した分野を重点的に学びます。

生命科学を学ぶ上で必要不可欠の基礎知識を修得するため,共通の基幹科目群を設定して,基礎学力を充実させるとともに,2つの専門教育コースへの円滑な導入を行います。

遺伝子やタンパク質・生理活性など分子レベルから細胞・器官レベルに至る生命科学の基盤となる幅広い生命現象を重点的に学びます。

理系学部として必要な物理・化学・生物・数学の基礎を学びます。

環境科学科との連携

生命科学科

質の高い「生きる」「食べる」を創成



DNA・蛋白質・細胞の
働きを研究

生命の神秘を解明
(先端的なバイオテクノロジー)

応用生命科学
コース

生命の仕組みの利用

病気の防御・食料増産
食の加工・流通
(食に関する総合的な技術)

食品資源科学
コース



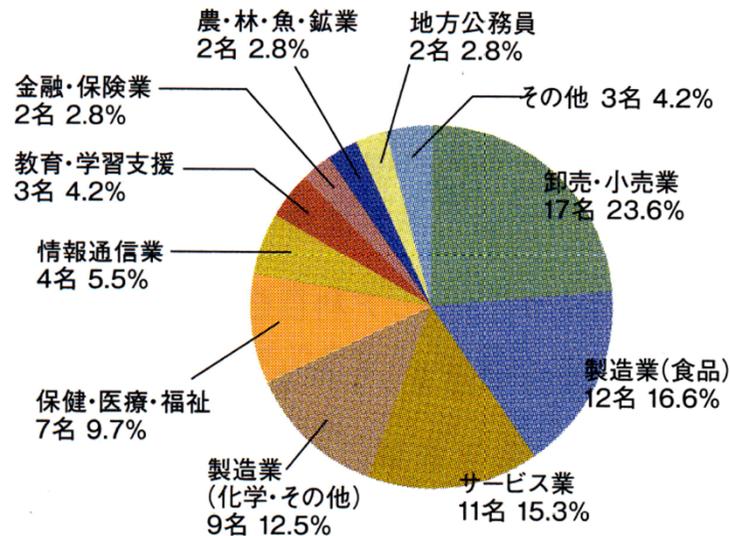
最先端技術の修得
(高度な実践教育)

バイオ技術者・研究者
バイオメディカル
関連技術者

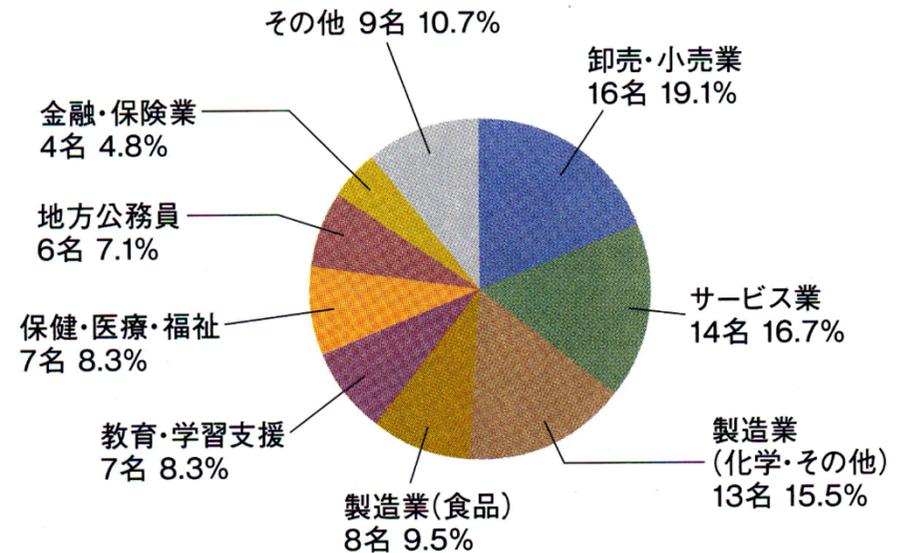
食品・農業
製薬関連企業

生命科学科の卒業生の進路(業種別)

平成26年度



平成27年度



就職希望者 73名・就職者 72名
【就職決定率 98.6%】

就職希望者 84名・就職者 84名
【就職決定率 100%】

大学院への進学者は約20%

生命科学科の産学官連携商品



しょうばらいの むらさきのゆめ
(有色米ポリフェノール入りクッキー)



どんぐりコロコロ豚(とん)
(餌にどんぐりを混ぜ、放牧して育てた豚)



しもん茶「霧海(むかい)」
(ブラジル原産の白いサツマイモの葉と茎から作ったお茶。機能性成分が多く含まれている。)



三矢えびす「ハブ草茶」
(県北地域で親しまれてきた健康茶で、風味がよく、ポリフェノールが多く含まれている。)